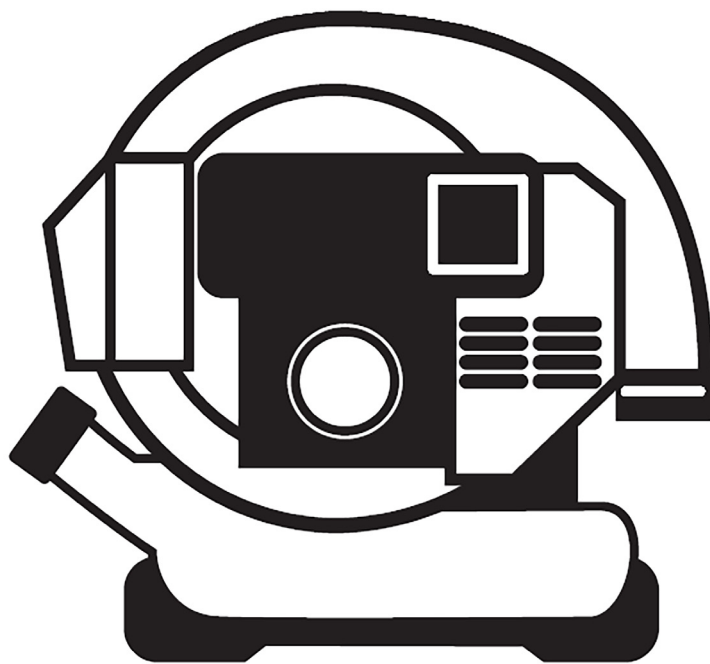


取扱説明書

エンジンブロー

BL7000-1



この度は、当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- この取扱説明書には、事故を防ぐ重要な注意事項と本製品の取扱方法が指示されています。
- 本製品を使用する前に本取扱説明書を熟読し、十分理解された上で、ご使用ください。
- 本取扱説明書は必要なときにすぐに参照できるよう、大切に保管してください。
- 本取扱説明書が損傷や紛失により読めなくなった場合は、ご購入の販売店からお買い上げください。

お知らせ

- 混合比 50:1 以上の混合燃料でご使用ください。ガソリンのみで使用するとエンジンは故障します。
- 本製品は日本国内専用です。日本国内のみでご使用ください。

お願い

- エンジン始動後は 1 分程度アイドリング状態で暖機運転をしてください。



株式会社丸山製作所

はじめに

- 本製品は、次の作業を目的とした製品です。
 - (1) 屋外の落ち葉や芝刈後の芝の清掃。
 - (2) 野球場、公園、道路などのゴミの清掃。
- 目的以外の作業への使用や改造を行った場合は、保証の対象外となります。上記に示した以外での作業や改造が原因での事故に関して、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 製品の仕様変更などにより、ご購入の製品と本書の内容が一致しない場合がございます。
- 本取扱説明書は一般使用者および業務で本製品を使用される方、現場責任者を対象としています。
- 関係法令（消防法、廃棄物処理法、騒音規制法や騒音に関する条例）を遵守してください。
- 一般使用者の方で初めてエンジンプローワーを使用する方、または本製品の使用に自信の持てない方は、使用前に熟練者から指導を受けることを推奨します。

安全に作業するために

■ 使用目的

本製品は健康な 16 歳以上の人、屋外の落ち葉、芝刈後の芝の掃除や、野球場・公園・道路などのゴミの清掃を目的とした製品です。けがや本製品の破損のおそれがあるため、目的以外の作業へ使用しないでください。

■ 警告表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について次のように表示しています。

 **危険** … もし警告に従わなかった場合、死亡または重傷に至るもの。

 **警告** … その警告に従わなかった場合、死亡または重傷に至るおそれがあるもの。

 **注意** … その警告に従わなかった場合、けがに至るおそれがあるもの。および本製品や周辺の物的損害が発生するおそれがあるもの。

■ その他の表示について

お知らせ … 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要な注意事項。

お願い …… 必ず実施していただきたい推奨事項。

■ シンボルマークについて

本製品および取扱説明書に下記のシンボルマークを掲載しています。このシンボルマークの意味をご理解の上で、ご使用ください。



製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する表示マーク。



製品の取り扱いにおいて、発火、破裂、高温などに関する注意事項であることを示す表示マーク。



製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する表示マーク。

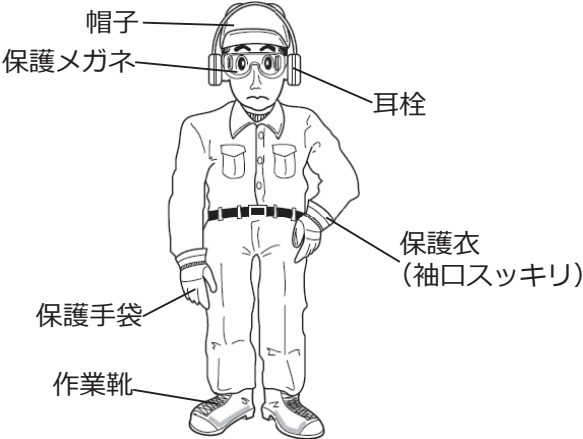
 取扱説明書	ご使用前に、取扱説明書をよく読んで理解し、使用すること。	 保護具着用	作業中は帽子、保護メガネなどの保護具を必ず装着すること。
 排ガス注意	エンジンの排気ガスにより中毒になるおそれがあります。	 火気厳禁	火気によって本製品が発火するおそれがあります。
		 高温注意	エンジンのマフラ、シリンダのフィンなど、高温部に触るとやけどのおそれがあります。

本製品は落ち葉やゴミなどを清掃する機械です。取扱方法を誤ると事故を招きます。下記の注意事項を必ず守ってください。

■ 本体に関する注意事項

 警 告	
	使用目的以外の使用禁止 ■ 本製品は、屋外の落ち葉、芝刈後の芝の掃除や、野球場・公園・道路などのゴミの清掃を目的とした製品です。目的以外の作業には使用しないでください。 目的以外に使用すると、安全性を損なうおそれがあります。また、本製品が破損するおそれもあります。
	改造禁止 ■ 本製品の改造は行わないでください。 安全性を損ない事故や重傷に至るおそれがあります。 ■ 本製品を他の製品などに組み込んで使用しないでください。 安全性を損ない事故や重傷に至るおそれがあります。
	部品取り禁止 ■ 本製品から組み立て部品や部品単体を取り外して、他の製品で使用しないでください。 他の製品に使用すると本来の性能が発揮できないだけでなく、使用した製品の破損、事故や重傷に至るおそれがあります。
	使用者に関する注意事項 ■ 体調の悪いとき、酒類を飲んだときは作業しないでください。 正しい使い方ができず事故や重傷に至るおそれがあります。 ■ 16 歳未満の人は作業しないでください。 正しい使い方ができず事故や重傷に至るおそれがあります。 ■ 生理中や妊娠している人、産後 1 年を経過していない女性、負傷中などの人は作業しないでください。 ■ 体内にてペースメーカーを使用している方は、本機を使用しないでください。 ペースメーカーが誤作動を起こすおそれがあります。
	使用環境に関する注意事項 ■ 降雨時や落雷のおそれがあるとき、夜間など見通しが悪いときは作業しないでください。 感電、被雷、転倒、転落など事故や重傷に至るおそれがあります。 ■ 足元が滑りやすい場所、急傾斜地では作業しないでください。 転倒してけがに至るおそれがあります。 ■ ブローアを使用するときは、岩や砂利や石などは避けて使用してください。 岩や砂利や石などが飛んで危険です。 ■ ほこりなどが多い状況では、マスクをしてください。 ほこりなどを吸い込むおそれがあります。

! 警告

!	作業着、保護具について 正しい服装の一例  帽子 保護メガネ 耳栓 保護衣 (袖口スッキリ) 保護手袋 作業靴	■ 身体を露出しないように、保護衣、帽子、保護メガネ、耳栓、保護手袋、作業靴などの保護具を必ず装着してください。 保護具が不適切な場合、飛散物により、重傷に至るおそれがあります。 ■ 保護具はつねに正常な機能を有する様に、点検・整備を行い、正しくご使用してください。 ■ 保護メガネを付けずに作業すると、飛散物が目に入って失明等の重大事故を起こす危険があります。
	本製品を他人に貸すとき ■ 本製品を他人に貸す場合は取扱方法をよく説明し、取扱説明書をよく読むように指導してください。 正しい使い方ができず事故や重傷に至るおそれがあります。	
	■ 本製品は子供の手の届かないところに保管してください。 おもちゃと間違え大人の真似をして触ると、事故に至るおそれがあります。	
	■ 本製品をハウスなどの屋内で作業するときは、換気に注意してください。 換気が不十分だと一酸化炭素中毒に至るおそれがあります。	

! 注意

!	始業点検の重要性 ■ 作業の前に始業点検を行ってください。 作業前に点検を行い、処置することにより故障や事故を未然に防ぐことができます。詳細は14ページの「5. 始業点検(作業前点検)」を参照してください。
---	---

■ 送風機に関する注意事項

! 警告

⊘	送風機の取り扱い ■ 運転中は吸込口や吐出口から手を入れないでください。 送風機は高速回転体で大変危険です。ケガや損傷に至るおそれがあります。
---	---

! 注意

!	■ 送風機から吹き出される風を、人や物に向けないでください。 小石などを吸い込み、吐出することによりケガや損傷に至るおそれがあります。 ■ 髪や衣類の付属物などの吸い込みに注意してください。 頭髮の長い人はしばったり、衣類の付属物がまき込まれない様にしてください。
---	---

■ エンジン・混合燃料に関する注意事項

危 険

エンジンの取り扱い

- **室内では運転しないでください。**
エンジンから排出される排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒になる危険があります。
- **エンジンから排出される排気ガスを、吸わないでください。**
一酸化炭素中毒になる危険があります。
- **リコイルの分解はしないでください。**
リコイルの中には、強力なバネが入っています。分解中にバネが飛び出し、目などに当たる危険があります。

混合燃料の取り扱い

- **混合燃料の補給は、火気から離れて行ってください。**
混合燃料に引火し、火災になる危険があります。
- **混合燃料の補給は、エンジンを停止し、冷えてから、こぼさないように行ってください。**
エンジンに混合燃料がかかると、発火する危険があります。必ず、エンジンを停止し、冷えてから補給してください。また、こぼした混合燃料に引火する危険があります。こぼさないように補給してください。万が一、こぼした場合は、必ず拭き取ってください。

警 告

エンジンの取り扱い

- **始動は必ず給油した場所および燃料の入った容器から 3 m 以上離れたところで行ってください。**
給油場所や燃料の入った容器周辺に燃料がこぼれていたり、ガソリンが気化している場合があります。離れた場所で始動しないと引火して火災に至るおそれがあります。
- **エンジンの運転中および停止直後は周囲 1 m 以内に可燃物がないようにしてください。**
排気ガスは高温です。また、マフラなど高温部は運転停止後であっても高温のため、近くに枯草や燃料等の可燃物があると火災に至るおそれがあります。また、熱に弱いビニールやネットが近くにあると、溶けて損傷するおそれがあります。
- **エンジンの運転中、停止直後および排気ガスは高温です。接触したり排気ガスに当たらないようにしてください。**
特に、マフラやシリンダーフィンなどの高温部に接触したり、排気ガスに当たり続けたりするとやけどに至るおそれがあります。

混合燃料の取り扱い

- **2 サイクルオイルの混合比を守ってください。**
環境汚染や、機械の故障を引き起こすおそれがあります。

注 意

エンジンに関する注意事項

- **始動ロープは、最後まで引ききらないでください。**
リコイルの故障の原因となることがあります。

警告ラベルの取り扱い

⚠ 注 意

下記の項目を守ってください。

本製品の正しい使い方を確認できず、けがに至るおそれがあります。

- 警告ラベル表面の汚れや泥をとり、いつも表示内容がはっきりと見えるようにしてください。
- 警告ラベルが損傷したときは、新しいラベルを同じ位置に貼り替えてください。
※ 新しいラベルについては、ご購入の販売店に部品番号で注文してください。
- 警告ラベルが貼ってある部品を交換したときは、その部品にも必ず新しい警告ラベルを同じ場所に貼ってください。

※ 本製品には、下の図に示す位置に下記の警告ラベルが貼ってあります。

本製品のご使用前に **1 ページの「■ シンボルマークについて」**を参照し、その意味を理解した上で、下記ラベルの表示内容を守って作業してください。また型式名、製造番号は、アフターサービスを受けるときに必要です。ご確認の上、裏表紙にメモしてください。

型式名ラベル(664036)

BL7000

警告ラベル(266959)



エンジンランケースに刻印

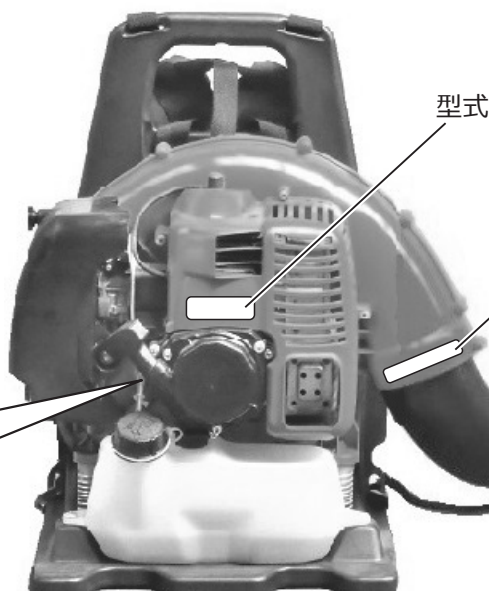
製造番号



リコイルスタータ

型式名ラベル(664036)

警告ラベル(266959)



目次

▲安全に作業するために	1
警告ラベルの取り扱い	5
1. 梱包品と各部のなまえ	7
2. 組み立て	8
(1) 噴管の組み立て	8
(2) スロットルレバーの組み立て	8
3. 混合燃料の作成	9
4. 作業の準備	11
(1) 作業者の服装と保護具の装着	11
(2) バンドの調整の仕方	11
(3) 運搬の仕方	11
(4) 作業現場の整備	12
(5) 作業計画	12
(6) 給油	12
(7) ガソリンおよび混合燃料の廃棄	13
5. 始業点検(作業前点検)	14
6. 運転の仕方	15
(1) 始動の前に	15
(2) 始動・運転	16
(3) エンジンの冷却運転・停止	17
7. ブロワー作業	18
(1) ブロワー作業	18
(2) ブロワー作業後	19
8. 点検・整備	20
(1) 背負いバンドの点検・整備	20
(2) エアクリーナの清掃	20
(3) マフラの点検・整備	20
(4) 点火プラグの清掃・調整	21
(5) 燃料フィルタ・タンクの清掃	21
(6) 吸入口カバーの清掃	22
9. 長期保管	22
10. 故障と対策	23
11. 転売・譲渡・廃棄	24
12. 主要諸元	24

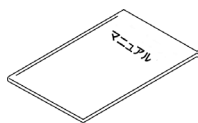
1. 梱包品と各部のなまえ

開梱時に下図を参照して部品が揃っているか、破損や変形はないかを確認してください。問題がある場合は、ご購入の販売店にご連絡ください。

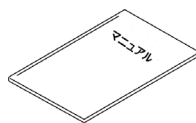
()内は部品番号です。



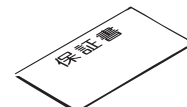
本体



クイックスタート
マニュアル/1部
(245700)



安全マニュアル
/1部
(245637)



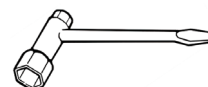
保証書/1部



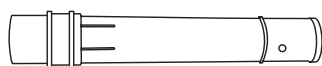
クランプマトメ(大)/1個
(130208)



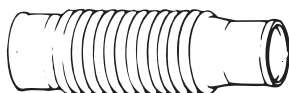
クランプマトメ(小)/1個
(130207)



コンビボックススパナ/1本
(662598)



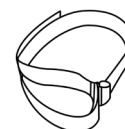
自在管/1個
(122395)



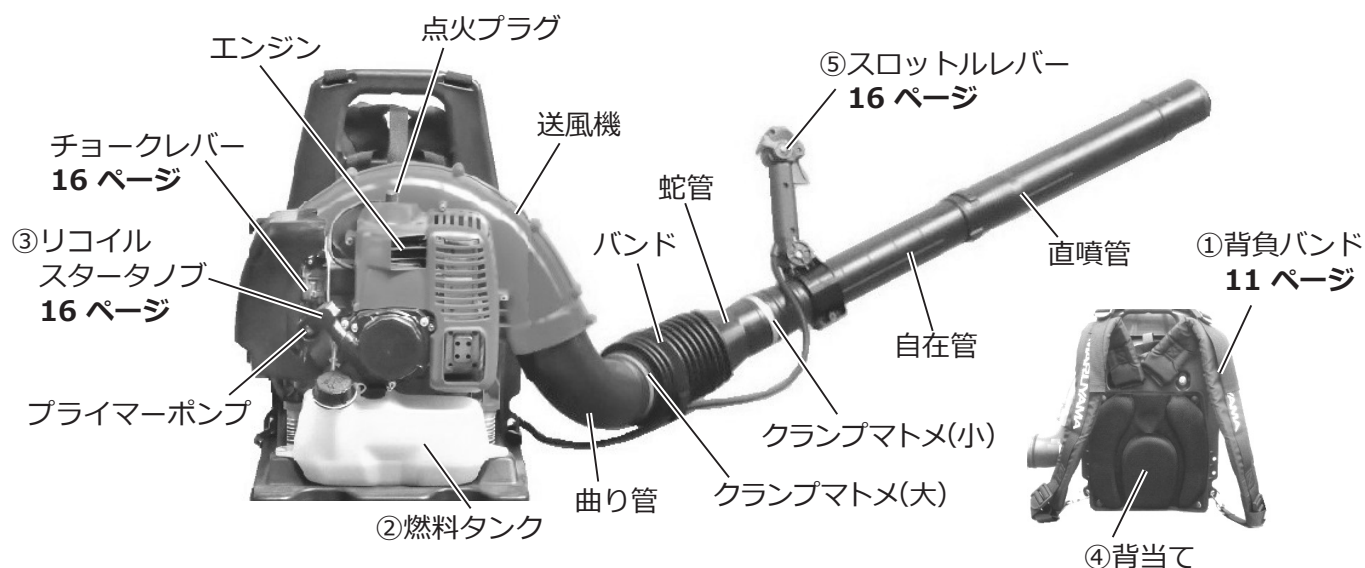
蛇管/1本
(662555)



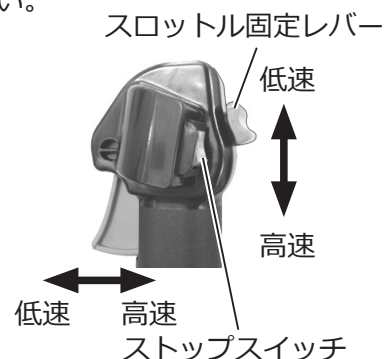
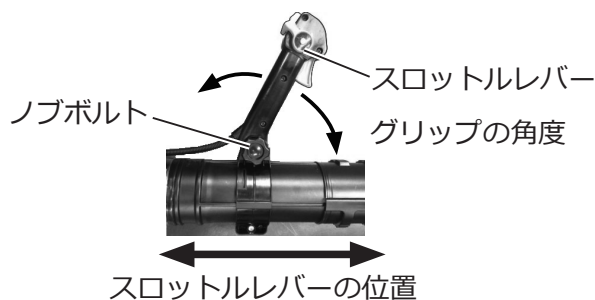
直噴管/1本
(122400)



バンド/1個
(127720)



- ① 背負いバンド……………バンドを引くと体に合せて長さが調節できます。
- ② 燃料タンク……………混合燃料が約 2.1L 入ります。
- ③ リコイルスタータノブ……引くとエンジンが始動します。
- ④ 背あて……………背負ったときの振動を軽減します。
- ⑤ スロットルレバー……………ノブボルトを緩めれば、スロットルレバーの位置とグリップの角度を変えることができます。作業に合わせて調整してください。



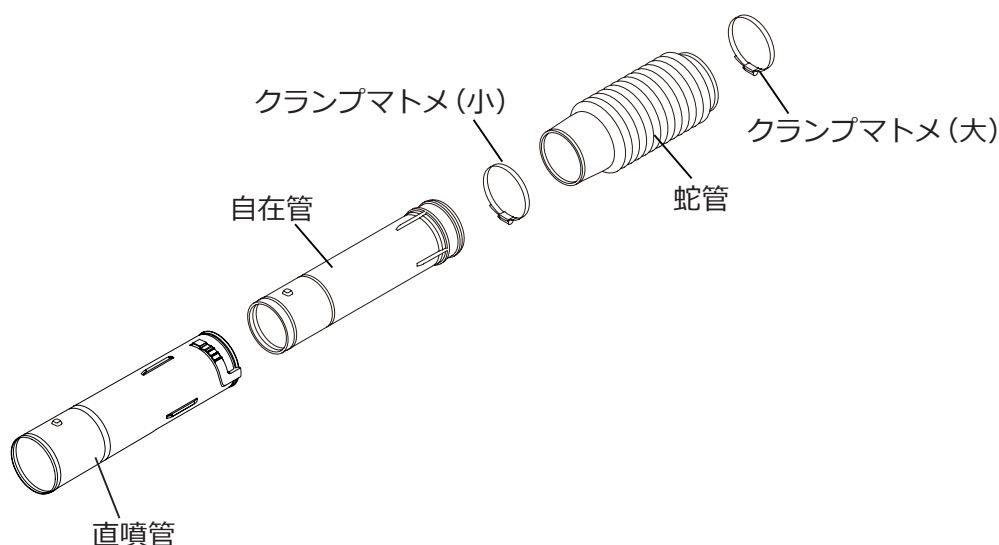
2. 組み立て

お知らせ

- 噴頭類は、夏の暑い時期においても十分な性能を発揮することを考慮し、噴管と噴管のはめ込みのきつさを設定しています。そのため、寒い時期に噴頭類を組み立てる際に、はめ込みのきついものが発生する場合があります。このようなときは、噴管のはめ込み部のメス側をお湯などで温めるか、またオス側に油などを塗布して噴管をはめ込んでください。

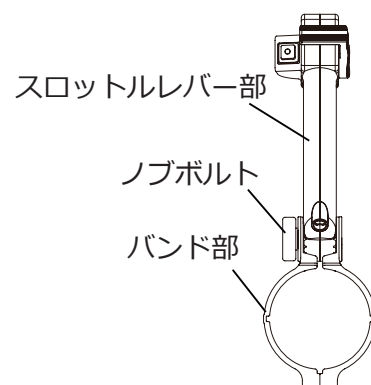
(1) 噴管の組み立て

- ① クランプマトメ (大) を使い、蛇管を送風機の曲り管にしっかりと接続してください。
- ② クランプマトメ (小) を使い、自在管を蛇管にしっかりと接続してください。
- ③ 自在管に直噴管を接続してください。
- ④ 自在管にスロットルレバーを取り付けてください。スロットルレバーはノブボルトでしっかり締めてください。



(2) スロットルレバーの組み立て

- ① ノブボルトを外し、スロットルレバー部をバンド部から取り外してください。
- ② バンド部で自在管をはさんでください。
- ③ スロットルレバー部をバンド部に取り付け、ノブボルトで固定してください。
- ④ 本製品を背負いながらノブボルトをゆるめ、スロットルレバーの角度と位置を、作業に合わせて調節してください。



3. 混合燃料の作成

混合燃料についての専門知識や技能がある方で、ご自分で混合燃料を作る場合は下記の手順で実施してください。

危 険



- ガソリンおよび混合燃料は引火性の高い燃料です。取り扱いおよび保管の際は必ず火気厳禁を守ってください。
守らないと火災に至ります。
- ガソリンおよび混合燃料を保管する場合、金属製の容器に入れ可燃性の気体が漏れ出さないよう密栓をし、火気や火花を発する機械器具などから離れた、直射日光の当たらない、通風、換気の良い場所で静電気が帯電しないように容器を直接地面に触れる（アース）ようにして保管してください。
守らないと火災に至ります。

注 意



- 購入から 1 カ月以上たったガソリン（お客様が作成した混合燃料を含む）は、本製品に使用しないでください。
変質したガソリンを使用すると、エンジンの故障に至るおそれがあります。

お知らせ

■ ガソリンの購入について

令和 2 年 2 月 1 日から危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令（令和元年総務省令第 67 号）により、ガソリンを販売するため容器に詰め替えるときは、顧客の本人確認、使用目的の確認及び販売記録の作成を行うこととされました。そのため、ガソリンを購入する際は本人確認書類の提示の要求や使用目的が聞き取りされ販売業者に販売記録が作成されます。ガソリンスタンドで購入の際は本人確認書類・消防法令に適合した金属製のガソリン携行缶を用意し、ガソリン購入時に販売記録の作成に協力してください。

1) 混合比率

無鉛ガソリンと丸山純正 2 サイクルエンジンオイル『ケムナイトエコ』（※ 1）、または市販の 2 サイクルエンジンオイル（※ 2）、市販の燃料混合器（内部がきれいで水分のない状態であるもの）を用意してください。ガソリンとエンジンオイルの混合比率は下表に示す通りです。

丸山純正『ケムナイトエコ』		FD/FC 級オイル （オプションの丸山純正オイル推奨）	
ガソリン	オイル（※ 1）	ガソリン	オイル（※ 2）
50	1	50	1
ガソリン 1 L の場合はオイル 20 mL		ガソリン 1 L の場合はオイル 20 mL	
ガソリン 5 L の場合はオイル 100 mL		ガソリン 5 L の場合はオイル 100 mL	

※ 1: 丸山純正 2 サイクルエンジンオイル『ケムナイトエコ』は丸山エンジン用に開発した高品質オイルです。白煙やタールの発生が非常に少なく、エンジン内もクリーンに保つオイルでエンジン寿命が向上します。

※ 2: 2 サイクルエンジンオイルは、JASO 性能分類の FD または FC 級をお使いください。

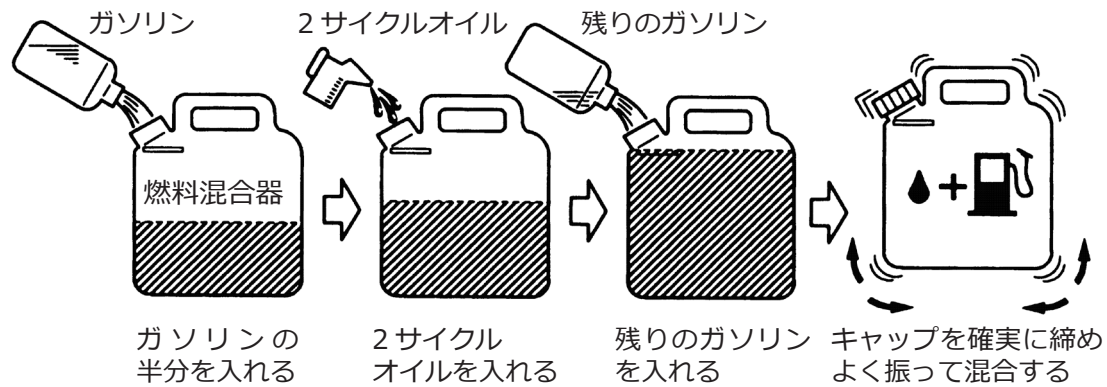
■ 上記指定以外のオイルや混合比は、エンジンの破損や不調に至ることがあります。

2) 混合の仕方

- ① 燃料混合器に混合するガソリンの半分を入れてください。
- ② 規定量のオイルを入れ、残り半分のガソリンを入れてください。
- ③ 燃料混合器のキャップを確実に締め、よく振ってガソリンとオイルを混合してください。

お願い

- 混合燃料は、必ず燃料混合器で作ってください。
- 残った混合燃料は、13 ページの「(7) ガソリンおよび混合燃料の廃棄」に従って処分してください。



4. 作業の準備

お願い

- 事故やけがに備え救急箱や止血道具（タオルなど）を携行してください。応急処置が行えず、傷が悪化するおそれがあります。なお、最寄りの消防本部・消防署で実施している救命講習の講習会に参加して、応急手当の知識と技術を身に付けておくことを推奨いたします。
- 万一の事故に備えて緊急時に連絡できるようにしてください。また、家族などにも緊急連絡先（医療機関・消防署など）がわかるようにしてください。携帯電話などの緊急時の連絡手段の携帯を推奨いたします。
- ガソリンの取り扱いや作業に取りかかる前に、発火・発煙・火災にそなえ消火器具、消火器、簡易消火器具（乾燥砂、砂をかけるためのスコップなど）を用意してください。なお、緊急時にあわてないように、消火器具などの使用方法を習得しておいてください。

(1) 作業者の服装と保護具の装着

作業に適した服装をして必要な保護具を装着してください。詳細は 3 ページの「正しい服装の一例」を参照してください。



- 体を露出しないように、保護衣や保護具などを必ず装着してください。
体が露出していると飛散物より重症に至るおそれがあります。

(2) バンドの調整の仕方

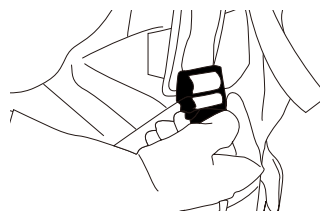
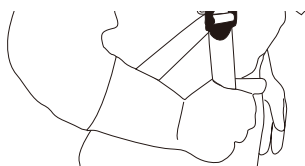
背負いバンドの長さを、自分の体形に合わせるように調整してください。



- バンドは消耗品です。装着前に切れ、ほつれなどの損傷がないことを確認してください。損傷などがあれば交換してください。
損傷があるものを使用すると、本製品が外れてけがに至るおそれがあります。

1) 背負いバンドの調整

- バンドを短くするとき
前垂れのバンドに沿って下方へ引き、下げてください。
- バンドを長くするとき
前垂れのバンドを上方へ送り込んでください。



(3) 運搬の仕方

本製品を作業場所まで運ぶときは、下記の注意事項を守ってください。



- 自動車などで運搬するときは、本製品が転倒しないように固定してください。
固定しないと運搬中に本製品が倒れ、破損するおそれがあります。

お願い

- 自動車などの荷台への固定は、ロープなどで確実に固定してください。

(4) 作業現場の整備

作業現場にある障害物は事前に取り除いてください。また、屋内で作業をする際は、換気ができるようにしてください。

 警 告	
	■ 本製品をハウスなどの屋内で作業するときは、換気に注意してください。 換気が不十分だと薬害や一酸化炭素中毒に至るおそれがあります。

 注 意	
	■ 作業現場に障害物がないことを、作業前に十分に確かめてください。 障害物の近くで作業をすると、転倒してけがに至るおそれがあります。

(5) 作業計画

作業を行う前にあらかじめ作業場所、作業手順（作業・後片付けなど）、緊急時の対応などを決めた作業計画を立ててください。

(6) 給油

給油するときは、エンジンの停止を確認し、下記の注意事項を守ってください。

 危 険	
	■ 混合燃料は引火性の高い燃料です。必ず火気および静電気に注意してください。 タバコを吸ったり火気を近づけたりしないでください。混合燃料に引火して火災に至ることがあります。 ■ 混合燃料を給油するときは必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。 蒸発した燃料ガスに引火して火災に至ることがあります。

1) 混合燃料の用意

市販の2サイクル用混合燃料（50:1 表示）、もしくは、お客様ご自身で作成された混合燃料を用意してください。ご自身で作成される場合は、**9 ページの「3. 混合燃料の作成」**を参照してください。

 注 意	
	■ 混合燃料を給油してください。 ガソリンだけで運転すると、エンジンが焼き付き故障に至るおそれがあります。 ■ 混合燃料は容器に表示された保存期間を守ってください。保存期間が表示されていない場合は、1 カ月以上経過した燃料は使用しないでください。 長期保管した燃料を使用するとエンジンが故障に至るおそれがあります。 ■ 混合燃料の保管は金属製の燃料缶を使用してください。 混合燃料を樹脂製の容器で保管すると、樹脂の成分が燃料の中に溶け出し、エンジン故障に至るおそれがあります。

2) 混合燃料の給油

燃料タンクに混合燃料を少しずつ、ゆっくりと入れてください。混合燃料は燃料タンクいっぱいに入れないで、8分目を目安にしてください。

 警 告	
	こぼれた混合燃料の放置または燃料漏れなどがないように、下記の項目を必ず守ってください。 火災につながり、死亡または重傷に至るおそれがあります。 ■ 混合燃料はこぼさないように注意して入れてください。こぼした場合はきれいに拭き取ってください。 ■ 燃料タンクのキャップはしっかり締めて、給油口から混合燃料が漏れないことを確認してください。燃料漏れがある場合はキャップを増し締めしてください。もし燃料漏れが止まらない場合は、使用を中止し直ちにご購入の販売店へご相談ください。 ■ 給油時にエンジンや燃料タンク、燃料ホース、オーバーフローパイプ、ホース類の接続部からの燃料漏れやしみがないか確認してください。もし燃料漏れやしみがある場合は、使用を中止し直ちにご購入の販売店へご相談ください。 ■ 湿度の低いときは、静電気が発生しやすくなり、混合燃料に引火するおそれがあります。地面を触るなどの静電気の除去を行ってください。

(7) ガソリンおよび混合燃料の廃棄

ガソリンおよび混合燃料（混合ガソリン）は危険物であり、廃棄物処理法の特別管理廃棄物に相当します。みだりに廃棄すると法令による処罰の対象となります。廃棄する場合はお住まいの自治体の廃棄物担当部署に、ガソリン、または2サイクル用オイル混合燃料であることを明示して相談し、指示に従ってください。または、危険物を取り扱う専門の産業廃棄物処理業者に処分を依頼してください。

5. 始業点検（作業前点検）

その日の作業を始める前に行う点検が始業点検です。作業前に点検を行うことにより、事故や故障を未然に防止することができます。非常に大切な点検のため、必ず実施してください。もし、ご自身での点検に不安のある方や交換・修理が必要な場合は、ご購入の販売店にご相談ください。

■ エンジン部の確認

点 検 項 目		処 置	参 照 先
燃料タンク	タンク・キャップに破損がないか	交換	
	燃料ホース類、接合部に不良がないか	交換	
	キャップパッキンに不良がないか	交換	
エンジン	マフラ排気口の詰まりがないか	修理	
	エアクリーナカバーの組み立て不良がないか	正しく組み立てる	20 ページの「(2) エアクリーナの清掃」
	エアクリーナエレメントの目詰まりがないか	清掃または交換	20 ページの「(2) エアクリーナの清掃」
燃料	作業に必要な燃料があるか	混合燃料を給油する	12 ページの「(6) 給油」



警 告



- 上記点検表に基づき点検を実施し、必要な場合は処置を施してください。
必要な処置をしないと死亡または重傷に至るおそれがあります。

■ 本体部の確認

点 検 項 目		処 置	参 照 先
送風機	ファンケースにヒビや破損がないか	交換	
	吸気口や噴管内に目詰まりがないか	清掃	
	噴管に破損がないか	交換	
	防振ゴム、防振バネに亀裂や破損がないか	交換	
背負バンド	損傷やホツレがないか	交換	



注 意



- 上記点検表に基づき点検を実施し、必要な場合は処置を施してください。
必要な処置をしないとケガや本製品の損傷に至るおそれがあります。

■ ネジの点検

各部のネジのゆるみを点検し、ゆるんでいる場合は増し締めしてください。

6. 運転の仕方

警告

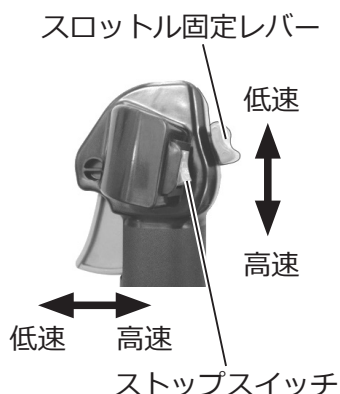
	■ 本製品を室内などの換気の悪い場所では運転しないでください。 エンジンの排気ガスは有害です。換気の悪い場所で運転すると一酸化炭素中毒に至るおそれがあります。
	■ 始動は必ず給油した場所および燃料の入った容器から 3 m 以上離れたところで行ってください。 給油場所や燃料の入った容器周辺に燃料がこぼれていたり、ガソリンが気化している場合があります。離れた場所で始動しないと引火して火災に至るおそれがあります。 ■ エンジンの運転中および停止直後は周囲 1 m 以内に可燃物がないようにしてください。 排気ガスは高温です。また、マフラなど高温部は運転停止後であっても高温のため、近くに可燃物があると火災に至るおそれがあります。また、熱に弱いビニールやネットが近くにあると、溶けて損傷するおそれがあります。 ■ エンジンの運転中、停止直後および排気ガスは高温です。接触したり排気ガスに当たらないようにしてください。 高温部に接触したり、排気ガスに当たり続けたりするとやけどに至るおそれがあります。 ■ 作業中に衣類の上からでも体が高温部に触れたり、排気ガスに当たらないようにしてください。 高温部に接触したり、排気ガスに当たり続けたりするとやけどに至るおそれがあります。 ■ 運転中のエンジンは熱く感じない部分であっても長時間の接触は避けてください。 接触し続けると、低温やけどに至るおそれがあります。 ■ タバコを吸いながらの作業はしないでください。 燃料がこぼれていたりした場合、引火して火災に至るおそれがあります。また、手についた薬剤が口から入り、薬害に至るおそれがあります。

注意

	■ 無線装置の近くでは、運転しないでください。 エンジンから発生する電波雑音は無線装置に影響を与えるおそれがあります。影響がある場合は使用を中止してください。
---	---

(1) 始動の前に

- ① 混合燃料が燃料タンクに入っていることを確認してください。
- ② 噴管がしっかり取り付けられていることを確認してください。
- ③ スロットルレバーが低速側になっていることを確認してください。



(2) 始動・運転

！ 注 意

	■ 始動ロープは最後まで引ききらないでください。 引ききってしまうと破損に至るおそれがあります。 ■ チョークレバーが  (閉) 側のままリコイルスタータノブを何回も引き続けしないでください。 混合燃料がエンジンシリンダの中へ入り過ぎて、エンジンが始動できなくなるおそれがあります。 ■ 運転中はプラグキャップや高圧コードに触らないでください。 運転中に触ると、感電に至るおそれがあります。
	■ リコイルスタータノブを引いた後は、リコイルスタータノブから手を離さずに戻してください。 リコイルスタータノブを引いてすぐに手を離すと、エンジンが故障に至るおそれがあります。

1) エンジン始動の準備

- ① 給油場所および燃料の入った容器から 3 m 以上離れた、平坦で周りに障害物のない地面に本製品を置いてください。
- ② 各部のネジを点検してください。ゆるみのある個所は増し締めをしてください。

2-1) エンジンが冷えている場合

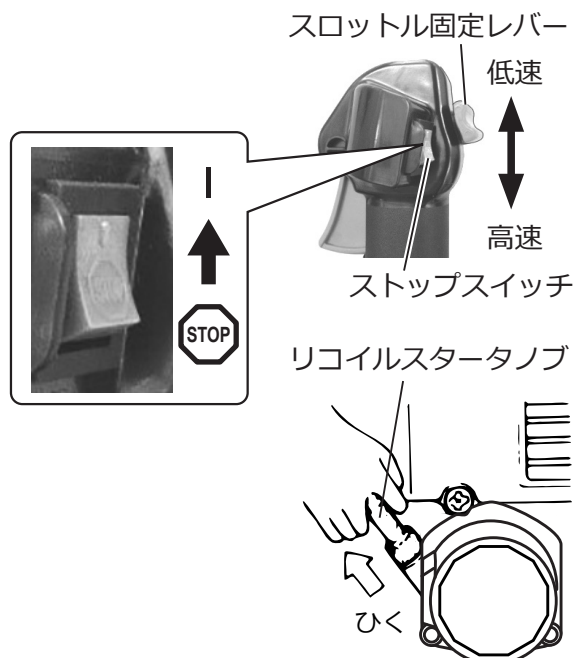
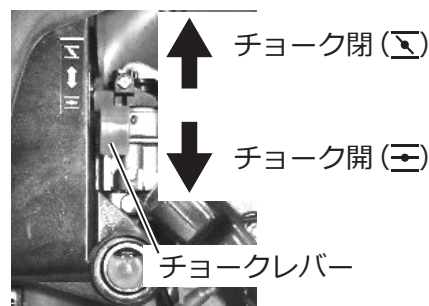
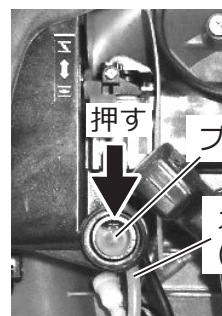
お願い

- 勢いよくリコイルスタータノブを引かないとエンジンは始動しません。
- 本製品を地面または、台の上に置いて始動してください。

- ① プライマポンプを矢印側から押す・離すの操作を、10 回程度繰り返し行ってください。オーバーフローパイプから燃料タンクに混合燃料が戻ります。
- ② チョークレバーを  (閉) 側にしてください。
- ③ ストップスイッチを「|」が押された状態にし、スロットル固定レバーを中速にしてください。
- ④ 周囲の安全を確認し、腰を十分に落とし本製品が動かないように、しっかりと押さえてください。
- ⑤ リコイルスタータノブの取り付け口とまっすぐになるように引いてください。
- ⑥ リコイルスタータノブは引っ張ったまま手離さないでゆっくりと元にもどしてください。
- ⑦ エンジンが始動したら、ゆっくりチョークレバーを  (開) の位置に戻してください。

※ エンジンが始動しない場合は下記の操作をしてください。

- 爆発音がしエンジンがすぐに止まったときは、チョークレバーを  (開) 側にし、さらにリコイルスタータノブを引いて始動してください。
- リコイルスタータノブを 3 回程度引いても爆発音がしない、または聞き逃した場合は、チョークレバーを  (開) 側にしエンジンが始動するまで数回リコイルスタータノブを引いてください。



- ⑧ アイドリング状態で 1 分間程度暖機運転してください。暖機運転はスロットルレバーを操作せず、アイドリング状態のままにしてください。

2-2) エンジンが暖まっている場合

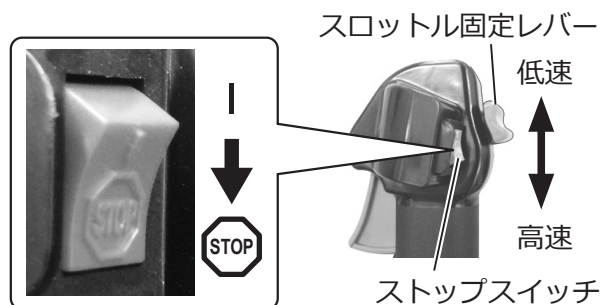
お願い

- 勢いよくリコイルスタータノブを引かないとエンジンは始動しません。

- ① プライマポンプを矢印側から押す・離すの操作を、10 回程度繰り返し行ってください。オーバーフローパイプから燃料タンクに混合燃料が戻ります。
- ② チョークレバーが  (開) 側にあることを確認してください。
- ③ スロットル固定レバーを中速にしてください。
- ④ 周囲の安全を確認し、腰を十分に落とし本製品が動かないように、しっかりと押さえてください。
- ⑤ リコイルスタータノブを数回勢いよく引いてください。

(3) エンジンの冷却運転・停止

- ① スロットルレバーを低速にし、アイドリング状態のまま、1 分間程度冷却運転をしてください。
- ② ストップスイッチを、「STOP」が押された状態に操作してください。



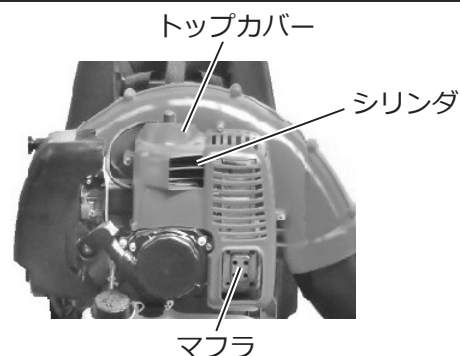
※緊急停止方法

緊急時の場合はストップスイッチを「STOP」が押された状態に操作してください。スイッチやリード線などの故障で、ストップスイッチを操作してもエンジンが停止しないときは、緊急手段としてチョークレバーを  (閉) 側の位置にしてください。エンジンは失速停止します。その後直ちにご購入の販売店にスイッチなどの修理を依頼してください。

警告



- 運転中、アイドリング中およびエンジン停止後しばらくは、シリンダやトップカバー、マフラなどの高温部に触らないでください。高温部に触るとやけどに至るおそれがあります。



注意



- スwitchの修理が完了するまでは、本製品を運転しないでください。修理していないとエンジンを止めることができず、けがに至るおそれがあります。



- 緊急時以外は、冷却運転を行ってから、エンジンを停止してください。高速回転で運転中に急に停止することは、エンジンに無理がかかり故障に至るおそれがあります。
- 実作業に入る前に、「(3) エンジンの冷却運転・停止」の項に従って、エンジンが停止することを確認し、始動・停止の練習をしてください。エンジンの停止方法を体得しないとけがに至るおそれがあります。

7. ブロー作業

(1) ブロー作業

- 作業をするときは、下記の注意事項を守ってください。

 警告	
	■ 噴管をのぞきこまないでください。 目や顔などに石やゴミなどがかかり、けがをするおそれがあります。
	■ 頭痛やめまいを感じたり、気分が悪くなったときは、すぐに作業を中止して医師の診察を受けてください。 事故や重傷に至るおそれがあります。 ■ ハウスなどの屋内では、十分な換気を行ってください。 一酸化炭素中毒になる危険があります。

 注意	
	■ 無理な姿勢で本製品を背負わないでください。 無理な姿勢で背負うと、けがに至るおそれがあります。 ■ 人や動物に向けしないでください。 小石などを吸い込み、吐出されることによりケガや損傷に至るおそれがあります。 ■ 作業に関係のない人は、作業の現場に近づけないでください。 小石などを吸い込み、吐出されることによりケガや損傷に至るおそれがあります。
	■ 足場を整えてから本製品を背負い、作業してください。 足場の悪いところで作業をすると、転倒に至るおそれがあります。 ■ 作業は朝夕の涼しい時間帯に行ってください。 気温の高い時間帯は身体の疲労の影響が大きくなり、転倒や事故に至るおそれがあります。 ■ 風上から風下に向かって作業してください。 風下から作業すると作業者がほこりやゴミを浴びて、けがをするおそれがあります。 ■ 本製品を倒したり、ぶつけないでください。 故障に至るおそれがあります。 ■ 不具合を発見したときは、直ちに作業を中止し、整備・修理してください。 整備不良のまま作業を続けるとけがや本製品の損傷に至るおそれがあります。

■ 作業開始

- ① エンジンを始動し本機を背負ってください。
 - ② 作業状態にあわせてスロットルレバーの開度を調整して、作業を行ってください。エンジンの回転はスロットルレバーとスロットル固定レバーで操作してください。
- スロットルレバーはトリガーを引けば高速に、離せば低速になります。
 - スロットル固定レバーは、トリガーと連動していて設定した回転数で動き続けます。

■ 作業の停止、エンジンの停止

- ① スロットルレバーを低速にし作業を終了してください。
- ② ストップスイッチを、「STOP」が押された状態に操作してください。

(2)ブロワー作業後



警告



- 損傷個所がある場合は、修理してから保管してください。
損傷個所があると、安全を損ない事故に至るおそれがあります。



注意



- 作業が終わったら、全身をよく洗ってください。目をきれいな水で洗い、うがいをしてください。
- 作業後は使用した保護具を十分に清掃してください。
- 本製品の電気関係部品（スロットルレバー、プラグキャップ、高圧コード）に、水をかけないでください。
水が入ると、ショートやサビに至るおそれがあります。
- エンジンに直接、水をかけないでください。
エンジンが急冷され故障の原因となります。
- 本製品は室内で保管してください。
湿気の少ない風通しのよい場所に保管してください。バンドや樹脂部品は紫外線による劣化・損傷が生じることがあります。直射日光が当たる場所には保管しないでください。

お知らせ

- 背あて、背負いバンドは素材の性質上、水分や摩擦などにより色落ち、色移りする場合があります。
濡れた場合は、乾いたタオルなどで水分を拭き取り、風通しの良いところでよく乾かしてください。

■ 清掃

- ① 本機や噴管に付着したほこりやゴミを拭き取ってください。
- ② 保護具や使用した容器を洗浄してください。
- ③ 衣類を脱ぎ、全身を洗ってください。

8. 点検・整備

お願い

- 本製品を安全にご使用いただき、また長持ちさせるために定期的に点検を行ってください。
- 安全にご使用いただくために年に1回、ご購入の販売店にて点検を行ってください。
- 点検および整備のときは必ず本機を停止してください。

(1) 背負いバンドの点検・整備

背負いバンドが汚れているときは、水洗いしてください。水洗い後、よく乾燥させてください。乾燥後、損傷（切れやホツレ）がないか点検し、損傷している場合は背負いバンドを交換してください。交換部品については、本製品をお買い上げの販売店でお買い求めください。

(2) エアクリーナの清掃

1) 清掃の間隔

エアクリーナのエレメントが汚れていると、エンジンの出力低下や始動不良が起こります。使用后1日1回は必ず清掃してください。特に、ほこりの多い場所で使用した場合は、目詰まりしやすいため必ず清掃してください。

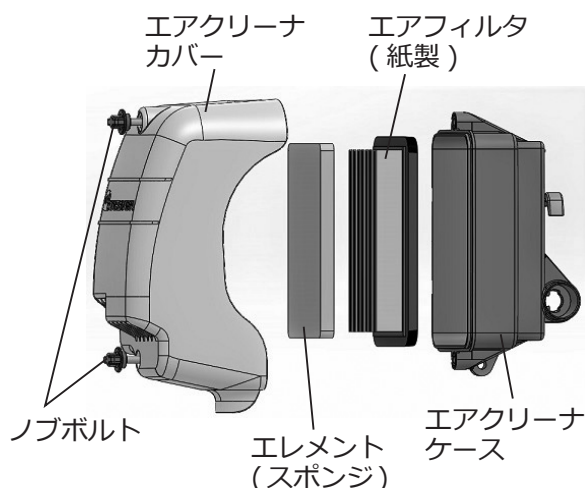
！ 危険



- 混合燃料は引火性の高い燃料です。取り扱いには必ず火気厳禁を守ってください。守らないと火災に至ります。

2) 清掃

- ① チョークレバーを  (閉) にしてください。
- ② ノブボルトを回し、エアクリーナカバーを開けてください。
- ③ エレメントを取り出し、優しくたたいて落とすか、混合燃料で洗浄してください。
- ④ エアフィルタを取り出し、優しくたたいてゴミを落としてください。または、新品と交換してください。
- ⑤ エレメントをしばってから、右図の順番で元の位置に取り付けてください。
- ⑥ エアクリーナカバーを閉じてください。



お願い

- 洗浄して残った混合燃料は、13 ページの「(7) ガソリンおよび混合燃料の廃棄」に従って処分してください。

！ 注意



- エアクリーナカバーやエレメント、エアフィルタのない状態でエンジンを始動しないでください。エンジンの故障に至るおそれがあります。
- エアフィルタ (紙製) は洗浄できません。

(3) マフラの点検・整備

マフラがカーボンで汚れているときや排気口にカーボンが付着しているときに、エンジンの出力低下が起こります。

お願い

- マフラ内部、シリンダ、ピストンのカーボン除去作業には、専門の技術および道具が必要です。ご購入の販売店に点検・整備を依頼してください。

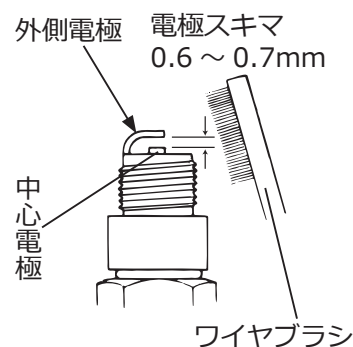
(4) 点火プラグの清掃・調整

1) 点検の間隔

点火プラグの点検は、25 時間使用することに行ってください。

2) 清掃・調整

- ① 付属のコンビボックススパナを使用し、点火プラグを外してください。
- ② 電極部にカーボンなどが堆積している場合はワイヤブラシなどで清掃してください。
- ③ 中心電極や外側電極が焼けて丸く減っている場合は、点火プラグを交換してください。
- ④ 点火プラグの電極スキマは、0.6mm ～ 0.7mm (ハガキ 3 枚分程度) が正常です。広すぎたり狭すぎたりしている場合は調整してください。



(5) 燃料フィルタ・タンクの清掃

！ 危険



- 混合燃料は引火性の高い燃料です。取り扱いには必ず火気厳禁を守ってください。守らないと火災に至ります。

！ 注意



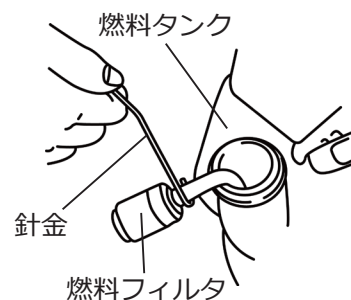
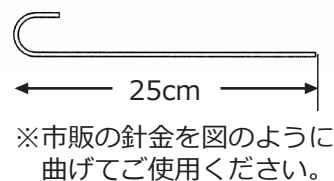
- 燃料タンクと燃料フィルタの清掃には混合燃料を使用してください。水洗いなどをするとエンジンの故障に至るおそれがあります。

1) 清掃の間隔

燃料フィルタが詰まると、始動不良や加速不足の原因になります。25 時間使用することに取り出して清掃してください。

2) 清掃

- ① 右図のように曲げた針金を用意してください。
- ② 燃料タンクキャップを外してください。
- ③ 用意した針金を使用して燃料フィルタを取り出し、ゴミを取り除き混合燃料で洗浄してください。汚れがひどいときは、燃料フィルタを交換してください。
- ④ 燃料タンク内にゴミがあると燃料フィルタが詰まりやすくなります。ゴミを取り除き、燃料タンク内も混合燃料で洗浄してください。
- ⑤ 燃料フィルタの清掃、交換の後は、燃料フィルタが燃料タンク内で自由に動くように、燃料タンク内に押し込んでください。その後、燃料キャップを締めてください。
- ⑥ 燃料タンクキャップを取り付け、しっかりと締め付けてください。



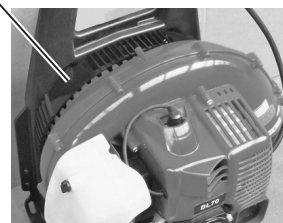
お願い

- 洗浄して残った混合燃料は、13 ページの「(7) ガソリンおよび混合燃料の廃棄」に従って処分してください。

(6) 吸入口カバーの清掃

- 吸入口カバーが詰まると、性能の低下の原因になります。25 時間使用すごとに清掃してください。
- ゴミの付着がないか、吸入口カバーに損傷がないか確認してください。

吸入口カバー



9. 長期保管

- 本製品を長期間 (1 カ月以上) 保管する場合は、下記の手順で整備をしてください。

本製品の汚れを落とし、**20 ページの「8. 点検・整備」**を行ってから保管してください。なお、損傷箇所がある場合は、全て当社指定の純正部品を使用して、必ず修理してから保管してください。

⚠ 注 意



- **本製品は室内で保管してください。**

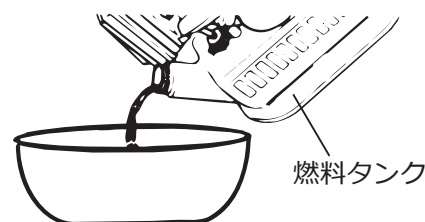
湿気の少ない風通しのよい場所に保管してください。バンドや樹脂部品は紫外線による劣化・損傷が生じることがあります。直射日光が当たる場所には保管しないでください。

お願い

- 各部を十分に清掃し、保管はチリやホコリが付着しないように注意して火気のない、高温や多湿にならないところに格納してください。

■ 格納について

- ① 混合燃料を抜きとってください。エンジンを始動し、アイドルリングでエンジンが自然に止まるまで運転してください。



燃料タンク

- ② スロットルレバーを低速位置にしておいてください。

- ③ 本製品を箱などに入れ、湿気の少ない風通しのよい場所に保管してください。

※ バンドや樹脂部は、紫外線による劣化・損傷が生じることがあります。直射日光が当たる場所には、保管しないでください。



■ 主な消耗部品リスト

使用箇所	名称	部品番号
エンジン	スパークプラグ	285982
エンジン エアクリーナ	エレメント (スポンジ)	248010
エンジン エアクリーナ	エアフィルタ (紙製)	248011
燃料タンク	燃料フィルタ	247107

10. 故障と対策

☆印については、ご購入の販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。

故障内容	故障原因	対策	
始動しない	混合燃料切れ	混合燃料補給	
	古い混合燃料を使用	新しい混合燃料と交換	
	燃料フィルタ目詰まり	清掃または交換	
	燃料パイプの折曲りおよび外れ	点検、修理、交換	
	気化器内部通路のつまり	点検、清掃	☆
	スロットルレバーが低速位置にある	中速まで移動させる	
	点火プラグ不良	交換	
	マフラの詰まり	清掃	☆
	マグネトー不良	交換	☆
	キャブレタ不良	交換	☆
	リコイル不良	交換	☆
停止しない	ストップスイッチ不良	交換	☆
出力不足	スロットルワイヤ調節不良	修正	☆
	エアクリーナの目詰まり	清掃または交換	
	排気ポート、マフラにカーボン堆積	清掃	☆
	ガスケットの不良・締付不良	点検、交換	☆
振動が大きくなる	各部のゆるみ	修正	
排気音が大きくなる	回転部分の異常接触	点検、調整	☆
	エンジンの内部損傷	点検、交換	☆
	マフラのゆるみ	修正	
エンジンの過熱	混合燃料の不良、混合不充分、混合比不良	正規の燃料を使用	
	カーボンの堆積、過負荷運転	点検、除去	☆
	点火プラグ不良	点検、交換	☆
	シリンダ、冷却フィンにゴミのつまり	清掃	
爆発回転の不確実、失火する	混合燃料が少なすぎる (燃料通路のつまり)	点検、清掃	☆
	点火プラグ不良	点検、交換	☆
	点火コイル	点検、交換	☆

お願い

- 上記についてお調べの上で、故障が直らないときは、ご購入の販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。

11. 転売・譲渡・廃棄

転売・譲渡

- 本製品を転売・譲渡する場合は、取扱説明書も同時に譲渡してください。取扱方法についてよく説明し、取扱説明書をよく読むように指導してください。
- 転売先や譲渡者に、製品の状況を説明してください。部品が不足している場合や修理が必要な場合は、修理をするように指導してください。
- 保証書も同時に譲渡してください(保証期間内の場合)。

廃棄

- お住まいの地域の自治体の指導に従ってください。

お願い

- 燃料やオイルを廃棄する場合は、お住まいの自治体の廃棄物担当部署または産業廃棄物処理業者に相談し、所定の規則に従って廃棄してください。

12. 主要諸元

	型式名			BL7000-1
本機	寸法	全長	mm	365
		全幅	mm	485
		全高	mm	540
	乾燥質量		kg	10.5 (噴管含む)
	燃料タンク容量		L	2.1
エンジン	型式			CER600
	形式			空冷 2 サイクル単気筒
	排気量		mL	60.9
	使用燃料			混合燃料 FC、FD 級 2 サイクルオイル 50:1 丸山純正ケムナイト 50:1
	点火方式			電子点火
	点火プラグ			NGK BPM8Y
	始動方式			リコイルスタータ
	回転方向			右 (リコイル側から見て)

- 改良のため予告なく仕様を変更することがあります。

サービスと保証について

■ 保証書について

保証書はお客様が保証期間中に保証修理を受けるときに、ご提示いただくものです。所定事項が漏れなく記入されているか確認し、お読みになられた後は大切に保管してください。

本製品を改造した場合や取扱説明書に記載の正しい使用目的と異なる場合や、使用上の誤りは、メーカーの保証対象外になりますので、ご注意ください。

■ アフターサービスについて

○ 本製品を安全にご使用いただくには、正しい操作と定期的な整備が不可欠です。年に一度は、ご購入の販売店に点検整備を依頼してください。このときの整備は有料となります。

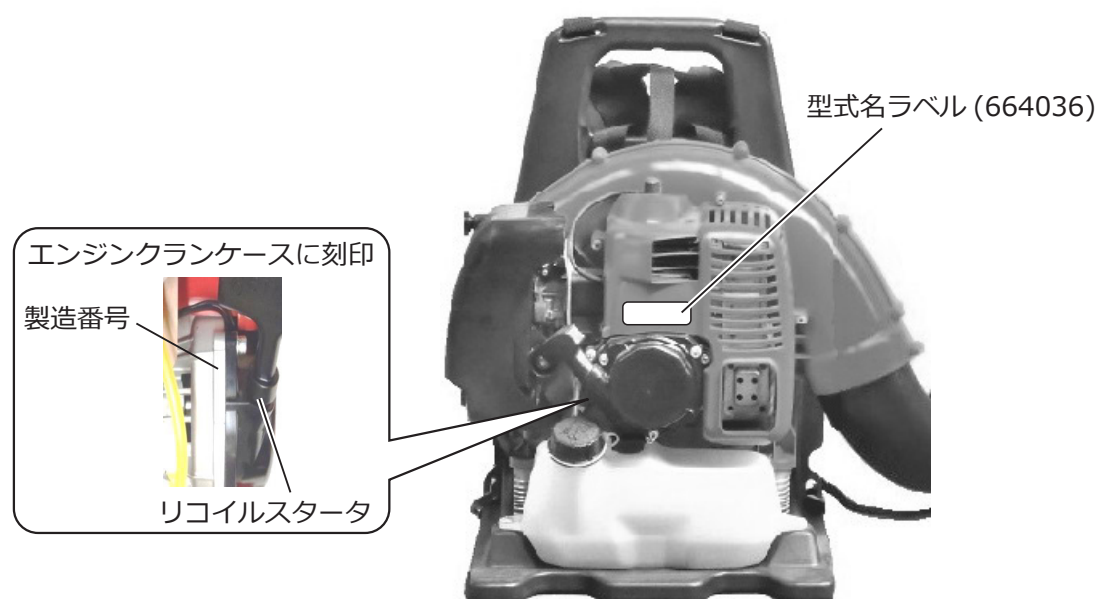
○ 始業点検時や使用中に不具合が発見された場合は、直ちに適切な整備をしてください。または、ご購入の販売店にご連絡ください。

○ 連絡していただく内容

● 型式名 _____

● 製造番号 _____

● 故障内容 なにが・どうしたら・どんな状態で・どうなったかを詳しくお話しください。



■ 補修部品の供給年限について

本製品の補修用部品の供給年限は、製品の製造打ち切り後 9 年です。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合があります。補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。



しっかり点検！安心・長持ち！
未永くお使いいただくためにも
定期的な点検・整備をお勧めします。

詳しくはお求めいただいた販売店までお気軽にご相談ください。



本製品に関するお問い合わせなどは、ご購入の販売店にご相談ください。または、下記の全国共通の無料通話あるいは丸山製作所ホームページでもお受けいたします。

丸山サポートセンター
無料通話 0120 - 898 - 114
丸山サポートセンターホームページ
<https://maruyama-support.jp/>



受付時間 9:00 ~ 17:00(土、日、祝日を除く)

本製品に関してお問合せいただく際は、正確にご対応させていただくため、あらかじめ、下記の事項をご準備ください。

- ① 型式名、製造番号
- ② ご購入年月日
- ③ 販売店名

修理依頼、補修用部品・オプションのご注文は、
ご購入の販売店または取扱店へ依頼してください。



株式会社丸山製作所

本社 / 東京都千代田区内神田 3-4-15 〒101-0047

この取扱説明書の部品番号は 244118

P/N. 244118-01 24.12